

Webクライアント 変更点 (Ver.4.00R15.02 → Ver.4.00R15.03)

2007年3月23日
パナソニック ソリューションテクノロジー(株)

GlobalFamily Webクライアントが Ver.4.00R15.03にバージョンアップされました。
変更点は以下のとおりです。

対応サーバー	UNIX 版	6.19R03
	Windows 版	6.19R03
対応ブラウザ	Windows 95 / 98 / 2000 / XP (SP1、SP2)	Internet Explorer 5.01 (5.00.2919.6307) ~ 7 Netscape Navigator 4.7x / 6.2 / 7.x
	Mac OS X 10.3.5	Internet Explorer 5.2.3(5815.1)

※ [Windows 2000/XP(SP2)] Internet Explorer 6.0 (SP2) を推奨します。

仕様変更

[ワークフロー]

処理中の書類を開く管理権限は、グループ進捗一覧から参照した場合に限り行えるように変更しました。

機能強化

[メール]

アドレス帳を使って宛先を指定する場合に、すでに削除されたユーザーを指定すると、警告メッセージを表示して、削除されていることが確認できるように対応しました。

アカウントメール送信で、SMTP認証を利用できるように対応しました。

不具合修正

[ワークフロー]

遂行者情報<GFLOW-USERINFO>タグに、代理遂行による遂行者の情報が設定されない不具合を修正しました。

インスタンス名・属性名が同じ遂行者情報<GFLOW-USERINFO>タグに複数指定されている書類に対して、遂行者情報を埋め込むインスタンスで保留を繰り返した場合、遂行者情報が次々と埋め込まれてしまう不具合を修正しました。

書類の起案画面表示から起案を実行するまでの間に、マスターテンプレートが更新された場合、起案エラーが生じて不正な書類が作成されてしまう不具合を修正しました。

書類の参照中に、ブラウザの閉じるボタン[×]で画面を閉じ、再度書類を参照した場合、書類画面に添付ファイルが表示されない不具合を修正しました。

テンプレートの設定が、起案処理で書類の削除を許可しない設定になっていて、オプションの一覧表示項目の設定「外部システム情報を表示する」のチェックがはずれている場合に、自分宛書類一覧から[削除]を実行すると、Javascriptエラーが発生する不具合を修正しました。

保存インスタンスで保存したワークフロー文書を更新した後、保存通知メール本文に記載されているURLでワークフロー文書を参照した場合、添付ファイルが正しく参照できない不具合を修正しました。